

ガバナー一月信

国際ロータリー第 2560 地区 2021-22 年度

高尾ガバナー事務所

〒950-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



月信 7月号

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① ガバナーメッセージ | ⑨ 米山記念奨学生歓迎会の紹介 |
| ② 直前ガバナーからのメッセージ | ⑩ 会員数及び出席報告 |
| ③ ガバナーエレクトからのメッセージ | ⑪ 地区主要行事予定 (7月・8月) |
| ④ 地区幹事挨拶 | ⑫ 新入会員紹介・訃報 |
| ⑤ 地区財務委員挨拶 | ⑬ 高尾年度地区バッジについて |
| ⑥ 新潟RC 80周年記念式典の紹介 | ⑭ コーディネーターニュース |
| ⑦ 中条RC 60周年記念式典の紹介 | ⑮ ハイライトよねやま |
| ⑧ 燕RC 60周年記念式典の紹介 | |



ガバナー就任挨拶

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー

国際ロータリー第 2560 地区 2021-22 年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。
一昨年 5 月に山崎パストガバナー指名委員長からガバナー就任の推薦をいただき、予想もしていなかったお話だったこともあり、何度もお断りさせていただいていましたが、多くのパストガバナーの先輩方からも後押しをいただき、貴重なお話を聞かせていただく中で、またとない経験の機会をいただいたことに感謝しなければとお引き受けさせて頂くことに致しました。

そして 2021-22 年度のガバナーとして、「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」という地区運営方針を掲げさせていただきました。これは、私自身、就任までの 1 年半の間にロータリー研究会やパストガバナーの先輩方からロータリーの神髄を学んだことでロータリアンとして成長させていただいたこともあり、シェカール・メータ RI 会長の 2021-22 年度のテーマである「SERVE TO CHANGE LIVES」(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために) を達成するには、奉仕が人生を豊かにするということを心から実感して行動する真のロータリアンを増やすことが必要であり、そのためにはより多くの人々にロータリーの活動を理解していただく機会を提供することが必要だと考えたからです。

これから地区役員の皆様とともに活動を推進してまいります。COVID-19 が収束していない状況の中、地区運営をしていくには様々な制限が発生する可能性があります。ガバナー補佐、クラブ会長幹事、地区役員、そしてロータリアンの皆様に、地区運営方針をご理解いただきながら、1 年間ロータリーライフを皆様とともに楽しく務めさせていただきたいと思っております。ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



高尾年度スタートにあたり

佐藤 真 (村上岩船 RC)

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 直前ガバナー

2021-22 年度の準備を万全に整えられた国際ロータリー第 2560 地区“高尾丸”の出航に際し、心よりお慶びを申し上げます。また、初めてのオンラインによる国際協議会、分区毎 7 サテライトで Zoom 開催された PETS、オンライン動画配信や Zoomなどを駆使した地区研修・協議会と、COVID-19 禍における新時代にマッチした手法を駆使され、準備をされてこられた経緯に、あらためて敬意を表します。

さて、国際ロータリー会長シェカール・メータ氏のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。会長は“超我の奉仕”に感銘を受け、そこから人々を思いやり、分かち合うことの大切さを学び、「私にとっての奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです」と述べられました。そして、高尾茂典ガバナーは「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」と方針を掲げられ、二つの重点目標「真のロータリアンを育成する」「ロータリー活動の認知度を向上する」を示されました。COVID-19 の影響はまだ尾を引くと思われます。疲弊しきっている社会や人々の心を少しでも救えるように、私たちロータリアンができることは、116 年前から培ってきたクラブを主体とした奉仕活動です。時代の流れと共に活動内容も変化を続けていますが、受け継がれてきた精神は決して変わりません。私たちは多様性と柔軟性を兼ね備え、四つのテストと寛容の心を胸に抱き、今できる・今すべき良い奉仕活動を実践すべく、共に取り組んでいくべきと考えています。そして、高尾茂典ガバナーには、研修で培った知識と持ち前のリーダーシップを十二分に発揮していただき、地区のトップとして、私たちが奉仕の理想へと導いていただきますようお願いいたします。

結びに、高尾茂典ガバナー及び地区役員とスタッフの皆さまのご活躍とご健勝、各クラブのご隆盛、そして COVID-19 の早期終息をご祈念申し上げ、パストガバナー一年生からのお祝いとさせていただきます。



高尾年度スタートにあたって

高橋 秀樹 (新潟 RC)

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナーエレクト

高尾茂典ガバナーにより国際ロータリー第 2560 地区が 2021-2022 年度のスタートをきったことを大変喜ばしく思います。

シェカール・メータ RI 会長の年度テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の下、高尾ガバナーは「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を地区運営方針として掲げられました。近年、国際ロータリーが時代の要請に応えるために次々と新しい施策を打ち出していることに鑑みますと、この地区運営方針はまことに時宜に適ったものかと思えます。ベテランのロータリアンは、RI の変化の中に新たな可能性を見出して新鮮な気持ちでロータリー活動に取り組むことになりましょうし、新進気鋭のロータリアンは、歩みを止めずに進化していくロータリーの世界でこれからの活動の豊かな展望を得ることになりましょう。

周りを見渡してみると、COVID-19 の影響はまだ薄らぐことがなく、かつての日常に戻ることは想像しがたい状況にあります。ワクチン接種が進む中、私たちは社会、経済の活力を維持し向上させていなくなくてはなりません。このような時こそ大いにロータリアンが活躍すべきです。そしてその活動を広く社会に知ってもらわなければならないでしょう。認知度の向上により、ロータリアンへの期待が高まり、さらなる活動の舞台が広がっていくことが考えられるからです。そして、広報活動によってロータリークラブのことを知った多くの方々が、志を共にしてロータリークラブに合流してくれることを切に願います。

高尾年度の開始にあたり、高尾ガバナー・浅妻地区幹事を始めガバナー事務所スタッフの皆様、ガバナー補佐の方々、地区全クラブの会長始め会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。これから私並びにガバナーエレクトスタッフ一同研鑽を積み準備を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



高尾年度のスタートにあたり

浅妻 信 (新潟中央 RC)

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区幹事

2年ぐらい前のことだったでしょうか。それすら記憶が危うげなところに当時の私のロータリー活動に対する熱意が推察できようものです。

市内7クラブで最小会員数の新潟中央クラブからガバナーを輩出する。我がクラブからガバナーを輩出するとなれば高尾ガバナーしかいません。いつも笑みを絶やさない明るい性格、抜群の行動力、そして有言実行で奉仕活動を実践する姿に常々尊敬の念を抱いておりました。もっとも、高尾ガバナーとて決断をするには相当の時間と多くの人の説得を要したようです。それだけの大役です。うちのクラブからガバナーを輩出して本当に大丈夫なのか？例会場で囁かれるそんな心配事も、まるで実感として湧きませんでした。

それから2年後の夏、私は地区幹事として高尾ガバナーを支え、ともに2560地区を引っ張るという大役を任されています。ご存知の方も多いと思いますが、私が地区幹事になることは当初予定されていたことではありませんでした。クラブ内の会長、幹事は務めたことはありますが地区役員の経験もなし。就任してからPETSや地区研修協議会が嵐のように過ぎて行きました。経験不足で多くの人にご迷惑をおかけしたと思いますが、高尾ガバナーはもちろん、新潟中央クラブの仲間の支えと地区の先輩達の励ましと叱咤でなんとかスタートラインに立つことができました。

私がクラブに新入会員を勧誘するときによく使う言葉があります。楽しいことのみを求めてクラブに入るのならそれは少し違う。いい経験も悪い経験もするかもしれないけど、いずれにせよそれは得難い経験であるし、それをプラスに捉えられるかどうかで人生は大きく変わると思う。今の私にその言葉を贈りたいと思います。誰よりもロータリーを学び、ロータリーを楽しみ、結果として地区の良い手助けができればと思っています。

これから1年間、どうぞよろしく申し上げます。



高尾年度のスタートにあたり

水戸部 修一（新潟中央 RC）

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区財務委員

新年度を迎え、いよいよ高尾年度がスタートしました。

今年度、高尾ガバナーの「ロータリーを学びロータリーを広げよう」という地区運営方針のもと、COVID-19 の影響下ではあってもロータリー活動を止めないというガバナーの意向を反映した予算組を行いました。

予算編成の土台となる会員数を 2,070 名と定めておりますが、地区全体の会員数が漸減傾向ではあるものの「会員拡大」という大目標を掲げて少なくとも現状の会員数は維持できるものとししました。これに加え国際ロータリーのシェカール・メータ会長が目標とする一人がひとりをロータリーの仲間にする事が実現できたら素晴らしいことです。

普段の暮らしが様々な制約を受け、県内各クラブも例会開催頻度や方法の見直し等の対応を迫られているなかでも委員会予算は佐藤年度と同程度としております。多岐に渡るロータリー活動が、それぞれ滞りなく実行できれば幸いです。

今年度の地区予算編成に関しまして P E T S でご説明した後、地区研修・協議会に至るまでの間に予算の修正をお願い致しました。クラブ会長の皆様にはご面倒をおかけした事をお詫びしますと共に、スムーズにご承認をいただきました事をこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

知識も経験も不足する私が大役を仰せつかりました。高尾ガバナーの活動方針に則った予算執行に務めたいと存じます。これからの 1 年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

新潟 RC 創立 80 周年記念例会報告



2020-21 年度新潟 RC 会長 高橋 秀松

新潟ロータリークラブは、1940 年 4 月 23 日、東京ロータリークラブをスポンサークラブとし、イタリア軒で誕生いたしました。同年 5 月 29 日、RI より正式に加盟が承認され、29 人のチャーターメンバーで国内 36 番目のクラブとして発足をいたしました。

当時を振り返りますと、アジアでは盧溝橋事件に端を発した日中戦争が中国全土に広がり、ヨーロッパではドイツが周辺諸国へ攻め込んで、世界大戦まで拡大しつつあった時期でした。この第 2 次世界大戦のさなか、「国際間の理解と親善と平和」を標榜するロータリークラブを新潟に設立をされた、先達の、勇気と先見力そして熱い思いに、私は驚きにも似た感動を覚えます。その後わずか数カ月で、火曜クラブと名前をかえ、解散を装い、監視をされつつも、例会を継続されたわけです。下手をすると非国民と言われかねない状況の中で、諸先輩が歩まれた時代は、現在の我々ロータリアンが考えているよりはるかに、厳しい道であったと思います。RI への復帰を心に誓い、幾多の紆余曲折と困難の中ロータリーの理想を燃やし続けられたこと。改めてロータリーの精神、ロータリーの活動のすばらしさを感じる次第です。

このような誕生の経過をたどり、80 年間、私たちは会合を開き、卓話を聞いて、共に学び、自らを高め、地域社会、国家、国際社会にそして青少年育成に、地道に絶えることなく奉仕活動を続けて参りました。

私たちは今後、諸先輩の築かれた歴史と伝統を大切に、90 周年 100 周年に向けて、どのようなロータリークラブが求められているかを見つめ直し、新しいステージに向けて歩みだす所存です。

本来でしたら、昨年 80 周年記念式典祝賀会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い一年間延期となり、規模を縮小した昼の記念例会として令和 3 年 5 月 18 日に開催することができました。

新潟ロータリーが 80 年の歳月を重ねることができましたのも、クラブの発展に努力された先輩会員は勿論ですが、支えて頂いたガバナーはじめ 2560 地区会員の皆様の友情のおかげと、感謝いたします。



日本ロータリー 100 周年を記念し東京クラブより地区へ寄贈頂いた鐘と創立当時東京クラブより寄贈頂いた鐘を前に立つ山田隆一実行委員長と高橋秀松会長

中条 R C 6 0 周年記念式典の紹介



伝統と歴史を積み重ね更なる発展を目指して

2020-21 年度 中条 RC 会長 **土田 範男**

中条ロータリークラブは 1962 年 (昭和 37 年) 6 月に村上ロータリークラブをスポンサークラブとして会員 23 名で誕生しました。創立 60 周年の節目を迎えます。この記念すべき年度にあたり中条ロータリークラブの伝統と歴史の重さを痛感しております。今まで積み重ねてきた素晴らしい実績を振り返りその発展に尽くしてこられた諸先輩、会員の皆様方のご努力に敬意を表するとともに地区ロータリアンを始め、地域の皆様方のご支援ご協力あつての事と心より感謝申し上げます。

本年は「奉仕の価値観を共有し親睦を深め地域社会に貢献しよう」をテーマに掲げ活動を行って参りました。ロータリーを通じて手を取り合い奉仕する機会の扉を開き地域社会へ、世界へ、良いことをしてクラブの存在感を高め、自分自身を高める活動をするのが魅力ある中条ロータリークラブの発展へと繋がることを願っています。これからも時代の変化に適応したクラブ創りを目指して運営を行って参ります。

60 周年記念事業として地区補助金を活用した地域社会発展の為のプロジェクトとして JR 中条駅西口駅前広場にメモリアル時計の設置と、駅前広場と樽ヶ橋遊園内に記念植樹を実施致しました。又、ロータリー発展の為のプロジェクトとしてロータリー財団と米山奨学会への寄付も実施いたしました。中条ロータリークラブの公共イメージと認知度向上に役立つものと考えております。

本年はコロナ禍によりロータリー活動はもとより多くの社会活動が延期・中止、自粛を余儀なくされました。この様な大変厳しい状況下においても事業の現場で頑張っている多くの仲間がいる事も忘れてはなりません。皆さまと共にそういった方々に思いを巡らせ、私達一人ひとりが業務を通じて支え合う事を改めて決意したいと思えます。6 月 5 日に挙行された記念式典も本来であれば、ご来賓はじめ関係各位の皆様多数ご出席いただき盛大に行う予定でしたが、大幅に予定を変更して会員だけの式典に縮小せざるを得なくなりました。50 周年時も東日本大震災に見舞われ大幅に縮小して開催致しました。返す返すも残念でなりません。これから 70 周年に向けてスタートするにあたり地域社会の益々の発展と世界の平穏無事を祈念し更なる発展に向けて力強く歩みを進めて参ります。皆様の一層のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

燕 RC 創立 60 周年記念式典



燕ロータリークラブ第 60 代会長 青柳 修次

燕ロータリークラブは 6 月 12 日に燕 RC 創立 60 周年記念式典を行いました（会場：燕三条ワシントンホテル、出席者は収容率 50% 以下の 120 名で来賓並びに第四分区のみ）。

本来は昨年 4 月に式典を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期し万全の感染防止対策を行い「式典」と「記念講演」のみ、飲食は中止として行いました。

大会テーマは「故郷に必要とされるロータリークラブへ」時代が劇的に変化し国際社会における日本の立ち位置も大きく変わり、国内の状況・故郷の状況も変わっていきます。燕 RC ではその中で何を行うべきか真剣に議論し、今必要とされる故郷への奉仕活動を実行している事を「燕 RC 創立 60 周年記念式典」においてお伝えいたしました。

燕ロータリークラブでは、長年継続事業として地域の青少年健全育成を目的に野球、ソフトテニス、バドミントン、サッカーなどスポーツ大会を主催。地元中学生と県内留学生の異文化相互理解セミナーの主催、地域の幼児教育に「お靴のベッド」の寄贈など各事業を継続事業として実行しています。

その一方 2020 年春よりコロナ禍で一層厳しくなった日本の苦学生支援を目的とし「あしなが育英会」へ奨学金の贈呈を継続してきています。

この度の 60 周年記念事業として 2020 年に小学校 8 校へ録画付き防犯カメラの寄贈を行い設置いたしました。またこの式典にて「フードバンクつばめ」の設立を祈念し支援金の贈呈を行いました。燕 RC ではさまざまな「ふるさとの社会奉仕活動」に取り組んでいます。

以上の事柄をご来賓の方々、第四分区の方々にお伝えした式典を執り行いました。

式典の講演として「弥彦神社宮司の渡部吉信様」「外交ジャーナリスト・作家 手嶋龍一様」による記念講演を賜りました。

結果、感染クラスターの発生もなく、素晴らしい式典となりました事をお伝えいたします。





新規米山記念奨学生歓迎会

米山記念奨学委員会 委員長
中町 圭介 (小千谷 RC)

新潟県も梅雨入りし、21日は夏至でした。夏が近づいています。
オリンピック開催も1ヶ月を切りましたが、まだまだ、不安と期待の交じる現在です。
COVID-19は人々の往来を妨げ、様々な活動が制約されています。

その中、6月19日 米山記念奨学委員会 2021-2022年度運営会議をとりおこないました。
7月よりの1年間の活動の計画、確認などを話し合いました。
米山記念奨学事業は下越、中越、上越をまたぐ全県での活動になりますので、感染対策をしっ
かりと行い、事業を推進してまいります。

会議終了後、奨学生歓迎会です。

本来であれば、みんなで集い、飲食の場で、国籍、所属学校の壁を越え、同じ米山記念奨学生として語りあい、友情を深めるチャンスですが、現在はまだ多人数での会合が出来ない環境です。

結果、現役米山記念奨学生ウェブ・ミーティングとなりました。

奨学生は6~7人で4チームグループに分かれ、およそ45分、自己紹介、近況報告などを話し合いました。その後、チーム編成をシャッフルし更に45分、都合2回の談話会となりました。奨学生はウェブにも慣れているので極極、楽しそうに語り合っていました。検疫の関係でまだ入国できていないハンガリーの学生も現地より参加です。ウェブ会議の利点でした。

8月29日 奨学生、カウンセラー出席の親睦交流会を企画しています。
生の笑顔を見られますよう期待しているところです。



第2560地区 2020-21年度5月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2020年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	387	385	38	-2
新発田	0	28.1%	95	96	0	1
村上	3	17.1%	40	41	10	1
水原	3	21.9%	30	32	1	2
中条	2	90.5%	43	42	3	-1
新発田城南	3	16.7%	44	42	4	-2
豊栄	2	13.0%	23	23	4	0
新発田中央	3	4.3%	45	46	4	1
中条胎内	3	58.3%	36	35	7	-1
村上岩船	3	25.0%	31	28	5	-3
第2分區(9クラブ)	／	-	433	450	26	17
新潟	3	21.8%	88	87	2	-1
新潟東	2	15.4%	63	65	8	2
新潟南	3	32.1%	96	109	4	13
佐渡	2	100.0%	6	6	0	0
新潟西	3	52.5%	38	39	2	1
佐渡南	2	12.5%	40	40	4	0
新潟北	3	30.0%	39	40	0	1
新潟中央	3	36.4%	20	22	0	2
新潟万代	4	52.4%	43	42	6	-1
第3分區(6クラブ)	／	-	102	98	4	-4
新津	2	12.5%	16	17	0	1
村松	3	66.7%	12	12	0	0
五泉	4	0.0%	12	11	1	-1
白根	4	32.1%	30	29	1	-1
新津中央	3	30.4%	26	23	2	-3
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	-	369	372	27	3
三条	3	11.9%	57	59	0	2
燕	3	5.6%	36	36	3	0
加茂	3	9.1%	30	33	5	3
三条南	4	13.6%	45	44	2	-1
分水	0	79.3%	30	29	4	-1
見附	0	9.1%	22	22	1	0
吉田	3	6.7%	26	30	4	4
三条北	3	0.0%	60	56	2	-4
巻	2	0.0%	23	24	2	1
田上あじさい	3	14.3%	7	7	1	0
三条東	4	6.3%	33	32	3	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2020年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	306	305	27	-1
長岡	3	84.4%	49	47	4	-2
柏崎	3	2.4%	42	42	0	0
長岡東	2	25.9%	57	58	3	1
柏崎東	2	18.2%	46	44	3	-2
栃尾	3	12.0%	24	25	0	1
長岡西	3	19.6%	52	51	5	-1
柏崎中央	3	23.1%	36	38	12	2
第6分區(6クラブ)	／	-	130	132	11	2
十日町	1	29.0%	29	32	3	3
小千谷	1	10.0%	27	30	3	3
雪国魚沼	3	20.8%	24	24	3	0
十日町北	1	0.0%	21	20	1	-1
津南	1	17.4%	23	20	1	-3
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分區(8クラブ)	／	-	337	330	23	-7
高田	2	30.8%	76	78	5	2
直江津	3	33.3%	71	70	6	-1
新井妙高	3	12.1%	32	32	1	0
糸魚川	3	81.0%	41	42	3	1
高田東	4	62.9%	36	35	2	-1
糸魚川中央	4	51.7%	33	29	0	-4
頸北	2	20.0%	10	10	1	0
越後春日山	1	100.0%	38	34	5	-4

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,064	人
5月末 会員数	2,072	人
女性会員数	156	人
純増減会員数	8	人
My Rotaryアカウント登録率	28.8	%

地区主要行事予定

2021年6月30日現在

年 月 日			行 事		会 場	
2021年 (R3) 高尾年度	7月	1 (木)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会		グランドプリンスホテル高輪	
		4 (日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長 合同会議		オンライン	
		10 (土)	危機管理委員会		ホテルオークラ新潟	
		10 (土)	会員増強セミナー →中止		ホテルオークラ新潟	
		17~18 (土~日)	インターアクト年次大会 (ホストクラブ:新潟東RC) →中止		ゆいぽーと(国際青少年センター)	
	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間				
		6 (金)	大学担当者向け米山制度説明会		ホテルオークラ新潟	
		7 (土)	ロータリー財団地区資金監査		万代シルバーホテル	
		22 (日)	国際奉仕フォーラム		ANAクラウンプラザホテル	
		28 (土)	第1回地区ロータリー財団セミナー/地区補助金オリエンテーション		長岡グランドホテル	
29 (日)	米山記念奨学生親睦交流会 RIJYEM総会 防減災セミナー		長岡震災アーカイブセンター			

【新入会員】

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	伊藤 勝利	2021.5.1	朝日生命保険相互会社	営業所長	生命保険
佐渡南	田中 琢也	2021.5.1	第一生命保険株式会社	オフィス長	生命保険
長岡	浅川 祐二郎	2021.5.18	第一生命保険	長岡支社長	生命保険
長岡東	伊藤 晃良	2021.5.19	住友生命保険(相)長岡支社	支社長	生命保険業
巻	大坪 収	2021.6.1	(有)物流サービス	統括部長	運送
糸魚川	吉田 学	2021.6.1	糸魚川バス(株)	代表取締役常務	道路旅客運送業
中条胎内	齋藤 聡(あきら)	2021.6.4	齋藤行政書士事務所	所長	行政書士
中条胎内	佐藤 真(まこと)	2021.6.4	新潟高原リゾート開発(株) (胎内高原ゴルフ倶楽部)	代表取締役社長 支配人	ゴルフ場
三条北	小林 伸行	2021.6.8	小林製鉄(株)	代表取締役	鉄製造
三条北	高橋 暢雄	2021.6.8	(株)高又製作所	代表取締役	建築金具製造
三条北	野崎 喜嗣	2021.6.8	(株)野崎プレス	代表取締役	金属プレス加工

※先月号掲載の新入会員のお名前に誤りがありました。大変失礼いたしました。【誤】矢野 学【正】矢野 淳 (直江津RC)

国際ロータリー2560地区 2021-22年度バッジについて

第2分区は、(旧)新潟市内の7つのクラブと佐渡の2つのクラブから構成されます。

説明には及ばないかと思いますが、新潟市のシンボルである「萬代橋」は、側面に花崗岩や御影石で化粧が施された6つの美しい連続アーチが特徴的であり、雄大な信濃川に架かる大橋として、国の重要文化財にも指定されています。信濃川は、長野・山梨・埼玉の県境にある甲武信ヶ岳を源流とし、長野県から北流して新潟県に入り、十日町や長岡などを流れ、新潟市で日本海に注がれます。長野県では千曲川と呼称され、新潟県に入ると、信濃川と名称が変わりますが、千曲川・信濃川を合わせると、日本で最も長い川です。信濃川は、新潟県内の各地域を繋ぐ、我々にとって最も身近な存在といえます。

また、佐渡のシンボルである「朱鷺」は、近年、繁殖の成功により、野生復帰の取り組みが着実に進められているところです。近い将来、各地で、野生の朱鷺の群れが羽ばたく光景を見ることができると期待されます。

今年度の地区バッジは、信濃川に架かる「萬代橋」と、大空を羽ばたく「朱鷺」とを、日本海に沈む美しい夕陽のもとに描きました。皆様にお気に召していただけますと幸いです。





2019-22年度第一地域RCの菅原裕典です。

いよいよ2021-22年度がスタートしました。各地区ガバナーの皆さん、クラブ会長はじめロータリアンの皆さん、今年もよろしくお願ひします。

昨年1年間は、ご承知の通り世界が「COVID-19」一色に染められたと言っても過言ではありませんが、様々な制約下にあっても、ロータリアンはクラブの運営と活動に最大限の取り組みをして、素晴らしい結果をもたらし、日本のロータリー100周年に相応しい年度だったと考えております。

さて、そうした中で今後更なる発展をしていくにあたっては、皆さんの地区、クラブの戦略計画は十分でしょうか？計画についてはガバナー、そしてクラブの会長が中心になり、それぞれの地区や地域に相応しい内容になっているものと拝察します。次は計画を如何に実行するかが肝要になりますが、取り組みには修正も必要です。その為には内部の方から定期的に意見を聞き、実行と同時に間断なく状況確認を行うことが大切です。また、外部の力を必要とするときには是非、我々地域コーディネーターをフルに活用してください。特に、戦略計画・会員増強についてはロータリーコーディネーター（RC）が数多くのアドバイスができるものと確信しています。とりわけ、今年度のシェカール・メータRI会長は、会員増強にとても積極的な姿勢です。我々も目標の数値を達成し、未来のロータリーに継続していきたくと強く願っています。

先日、ローターアクターの方とお話する機会がありました。私がローターアクターの会員の女性と男性の比率はと尋ねたところ、おひとりの方のクラブは5対5、もうお一人の方のクラブは6対4だとの事でした。「何故、ローターアクターは女性会員の比率が高いのですか？」とお聞きしましたら、「女性はボランティアをしたくて入会しており、男性は多くの友人を作り、交流をしたくて入会している」という返答でした。もちろん、男女共通の目的もあるでしょうし、多様性もあるかとは思ひます。しかし、この差異はある意味核心を突いているかもしれせん。例えばこのような視点やヒントが身近に数多くあるのにもかかわらず、そこに着目せず、結果、現状認識が不十分だという状況なのかもしれせん。

また、ローターアクターの方々とロータリアンには若干の距離感が存在している場合があります。ロータリークラブでも今一度視点を変えて考えなければいけないこともあるかもしれせん。時代の変化で価値観も変わりますし、地域の特性もあれば、会員構成の内容も異なります。今一度、現状認識を重視し、その年度や地域に相応しい地区・クラブ運営をしていこうではありませんか。

私たちRCは、第一地域・第二地域・第三地域の各地域にRC1名・ARC3名の4名体制で地域のお手伝いをさせていただきます。是非、直接ご連絡を頂き、協力をさせていただければ幸ひに存じます。

第一地域RC菅原裕典・ARC田中久夫・ARC福井敬悟・ARC石黒秀司

第二地域RC水野功・ARC神野重行・ARC松坂順一・ARC関邦則

第三地域RC滝澤功治・ARC中川基成・ARC庄司尚史・ARC安増惇夫

第1地域 ロータリーコーディネーター 菅原 裕典（仙台泉RC）



ロータリーのロゴの正しい使用方法を学んで下さい。

皆さんはロータリーのロゴという言葉が聞かれて、どのようなロゴを想像しますか？ブルーの文字でRotaryと書いて有り、隣に誇りのシンボルと呼んでいる歯車が黄色で描かれているロゴが頭に浮かんで来るでしょうか？

強固なブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティが欠かせません。これは私達がロータリーのロゴを正しく使うことによって実現されます。統一感のあるブランドを世の中の人々に示し、ロータリーとローターアクトに対する人びとの認識と理解を高めるようにして下さい。ロゴの使い方の詳細は、My ROTARYにログインして、＜ニュース&メディア＞を選び、＜ブランドリソースセンター＞をご覧になることをお勧めします。ロゴの使い方はデザイナー、印刷屋さんなどロータリアン以外の人々にも解るように、ブランドリソースセンターへのアクセスは、brandcenter.rotary.org/ja-JP からも行えます。

まず、ロゴはデザインであり一つの塊として使うものであると理解して頂くようお願いいたします。フォント、色使い、配置なども細かく規定されています。これらの取り扱いについてはデザイナー、印刷さんが良くご存知です。自分達でロゴを分解して使うことは厳禁です。時々、歯車のマークを分解したり、歯車の中心に番号を入れたりして使っているのを見かけます。これらは、やってはいけないことです。7月から新年度が始まります。慣れない委員の方々が良かれと思って、歯車の中にクラブ名や地区番号などを入れて使う事が有ります。注意してチェックをお願いします。

また、RIはクラブ、地区、ゾーンがロータリー公式ロゴを単体で使用する事は認めていません。この事は多くの方が忘れています。クラブ、地区、ゾーンでロータリーのロゴを使用する場合、ロータリー公式ロゴにクラブ名または地区番号、ゾーン番号を必ず入れるようにお願いします。複数の地区やゾーンの番号を入れることもできます。公式ロゴの上または下に、クラブ名、地区番号、ゾーン番号以外の言葉を入れることはできません。クラブ用、地区用、ゾーン用のロゴは、ブランドリソースセンターにあるテンプレートを使って作成できることを覚えておくと便利です。

協力団体、スポンサー、イベントとロゴと一緒に使いたい場合には組み合わせロゴが使用できます。組み合わせロゴを使う場合の規則もブランドリソースセンターで説明しています。

RLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）は、ロゴの中心に歯車のマークを入れていました。皆様方の中にも、RLIの全課程を履修して終了の証としてロゴバッチを贈られた方がおられると思います。RLIもRIから勧告を受けて、ロゴの中心を地球のマークに変更しています。

また、米山記念奨学会も、RIの規程に則りロゴの見直しを実施しています。

皆様方におかれても、新年度のスタートに当たり、地区やクラブで使われていたロゴの見直しをされることをお勧めします。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心RC）



1. 理事会開催報告 — 2022 学年度は 880 人採用 —

6月3日、全国の理事30人、監事3人が出席し、第29回理事会がオンライン会議（zoom）で開催されました。昨年はコロナ禍の中、例年6月・8月に開催している理事会はどちらも書面決議となりましたが、それから1年が経過し、オンライン上とは言え、全国の理事・監事が一堂に会して協議する、理事会本来の姿を取り戻すことができました。

今回の理事会では、議長の齋藤直美理事長の



進行の下、主な議案として、2022 学年度奨学生採用数の件、2022 学年度募集要項の件、2021 年度事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説

明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2022 学年度の奨学生採用数は、前年度比10人（枠）減の880人（枠）とすることが決定しました。

2. 第4代よねやま親善大使に委嘱状を伝達

6月3日の理事会開始前に、全国の理事・監事が見守る中、第4代よねやま親善大使への委嘱状伝達式が行なわれました。これは本来、昨年6月の理事会と合わせて行われるはずでした



が、コロナ禍のため延期になっていたものです。

緊急事態宣言下のため、残念ながら、大阪在住のウォーターズ・カレン・ジュリアさんとアドゥアヨム アヘゴ、アクエテレビさんはzoomでの参加となり、東京在住の李昱昊^{リイッコウ}さんのみ、来場参加となりました。相澤光春^{ライツクワ}広報担当理事の司会進行で、よねやま親善大使から一人ずつ、自己紹介と抱負が述べられました。続いて、理事長の名代として水野功副理事長が委嘱状を代読し、親善大使を代表して李さんに委嘱状を授与。全国の理事・監事から温かな拍手が送られました。締めくくりに、齋藤理事長から「もうあと半年くらいでもっと自由に動けるようになるはず。皆さんには、よねやま親善大使としての任務を立派に遂行していただきたい」と激励のメッセージが送られました。

3. 寄付金速報 — 今年度は 30 日着金分まで —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて0.9%増（普通寄付金：0.3%減、特別寄付金：1.6%増）、約1,200万円の増加となりました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。昨年7月から5月までの寄付累計額12億3,700万円は、2009～13年度の同時期よりも上回っており、少しづ

つ、コロナ前の状況に戻りつつある兆しが伺われます。

今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、**6月30日（水）までに当会の銀行口座に入金記帳された分まで**となります。ご送金の際には、日程に余裕をもってお送り下さい。

4. タイ米山学友会が総会を開催

5月15日、タイ米山学友会の総会がオンラインで開催されました。タイ出身学友のほか、タイおよび日本在住のロータリアン、日本・台湾・韓国の学友会会長・役員など、総勢60人が参加する盛会となりました。



総会では、当会の齋藤直美理事長、柚木裕子事務局長からのメッセージ動画に続き、来賓ロータリアンから祝辞が述べられました。また、これまでに実施した多様な活動についての報告

と、それぞれ関わったロータリアンからのメッセージが動画で紹介され、オンラインならではの工夫が凝らされていました。タイ米山学友会は、Participation（参加）とKakehashi（懸け橋）をテーマに、今後も前進していくと、ワシン会長

は力強く述べ、最後に、加古川RCの保地富夫会員の挨拶で閉会となりました。2022年は創立10周年を迎えるタイ米山学友会。笑顔で再会し、共に祝う日が来ることを願っています。

5. 奨学生の安全を願って自転車をプレゼント！

第2540地区（秋田県）本荘RCが、6月4日の例会で奨学生の葛睿剛さん^{カツエイゴウ}へ自転車をプレゼントしました。

きっかけは、ある会員が偶然、町で自転車に乗る葛さんを見かけたこと。前カゴが壊れ、ハンドルにビニール袋をぶら下げてフラフラと走行する様子に、「あれでは心配だから皆で新しい自転車をプレゼントをしよう」と、会員に呼びかけました。葛さんを驚かせたいと、購入した自転車を前日のうちに例会場へ運び入れ、皆が見守るなかサプライズでの贈呈。葛さんはこの時を振り返り、次のように語っています。「大学まで徒歩30分以上掛かる私にとって、自転車は

必需品です。これまで先輩から譲り受けた自転車で大学や例会に通っていましたが、少々不自由なところもありました。新しい自転車は、素敵な色で変速もできて乗り心地が良く、何より皆さんの気持ちに感動しました！米山奨学生であること、そして秋田に留学できたことが本当に光栄です。これからもロータリーの精神を学び、自分も人を助ける人間になりたいと思っています」。



6. 博士号取得状況

2020学年度に博士号を取得した奨学生・学友は63人、これまでの累計は3,849人となりました（6月11日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。従来品の製造終了に伴い、7月以降の申請から新しい腕時計となります。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281 / email:scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が新しくなります



文字盤の裏に氏名を刻印